

地方独立行政法人北海道立総合研究機構(道総研)

海事職員採用試験募集要項

令和7年3月17日 札幌市北区北19条西11丁目

北海道立総合研究機構 電話 011-747-2813

☐ 受付期限 令和8年3月31日(火) [通年募集]

☐ 第1次試験日(Web受験) 申込後に個別にお知らせする期間(2週間程度)内

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる試験研究機関を統合して設立した研究機関であり、本試験は、水産研究分野の試験調査船において水産資源等の調査及び運航業務に従事する職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。

(北海道職員ではありません。)

1 試験区分、採用予定数、主な業務内容及び勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な業務内容	勤務予定箇所
甲板	若干名	・試験調査船において試験研究に供する調査及び運航管理及び操船等を主体とした運航業務	・函館水産試験場 金星丸(函館市) ・釧路水産試験場 北辰丸(釧路市) ・稚内水産試験場 北洋丸(稚内市)
機関	若干名	・試験調査船において試験研究に供する調査及び機関運転等を主体とした運行业務	
通信	若干名	・試験調査船等において試験研究に供する調査及び無線通信等を主体とした運航業務	

※ 上記試験区分のうち、いずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

※ 採用後は、勤務予定箇所に記載した各水産試験場(試験調査船)間で異動することがあります。

試験場の所在地については、当機構のホームページ(<https://www.hro.or.jp>)に記載しています。

※ 欠員状況等により、採用予定数を変更する場合があります。

※ 採用者が採用予定数に達した時点で、その試験区分における募集及び採用試験を中止します。

募集している試験区分については、申込み前に経営管理部人事グループにお問い合わせください。

2 試験方法、内容、スケジュール

試験	試験科目	内 容(試験日時)	解答時間
第1次試験	適性検査(WEB)	当機構海事職員として必要な基礎能力やパーソナリティについての適性検査 WEB受験の期間、受検方法等詳細については、申込受付後にメールでお知らせします。	65分
第2次試験	個別面接	WEBによる個別面接 第1次試験合格発表後に、電話又はメールで希望日をお伺いします。	—

自宅にWEB環境がない場合は、経営管理部人事グループにお問い合わせください。

3 受験資格

試験区分	受験資格
甲板	昭和 39 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、 高等学校、中等教育学校(後期課程に限る)、大学若しくは高等専門学校を卒業した者(令和 8 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの者を含む)又は五級以上の海技士(航海)資格を既に取得している者、採用予定日までに取得する見込みの者、筆記試験に合格(一部科目の合格を含む)している者。
機関	昭和 39 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、 高等学校、中等教育学校(後期課程に限る)、大学若しくは高等専門学校を卒業した者(令和 8 年 3 月 31 日までに卒業する見込みの者を含む)又は五級以上の海技士(機関)[内燃機関限定を含む]資格を既に取得している者、採用予定日までに取得する見込みの者、筆記試験に合格(一部科目の合格を含む)している者
通信	昭和 39 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、 第三級以上の海上無線通信士の資格を既に取得している者若しくは採用予定日までに取得する見込みの者。

- ※ 試験区分によって受験資格が異なりますので、ご注意の上応募してください。
- ※ 高等学校、中等教育学校(後期課程に限る)、大学若しくは高等専門学校とは、学校教育法第 1 条に規定する学校を指します。
- ※ 平成 19 年 4 月 2 日以降に生まれた方は、第 1 次試験日が令和 7 年 9 月 16 日以降となります。
- ※ 次に該当する者は、受験できません。
- ア 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - イ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者
 - ウ 日本国憲法施行の日(昭和 22 年 5 月 3 日)以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない人は採用されません。

4 合格者の決定方法

- (1) 第 1 次試験合格者 適性検査の結果により決定します。
- (2) 最終合格者 個別面接の結果により決定します。

5 合格発表

合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構ホームページ上に掲示します。なお、合格者には、別途メールを送信するほか、最終合格者には、合格通知書を郵送します。

電話による照会には応じません。

合格した方で、**合格通知書が発表の日から 2 日経っても到着しない場合には、速やかに、北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループ(電話 011-747-2813)にお問い合わせください。**

○合格発表日

- ア 第 1 次試験合格発表 第 1 次試験日から概ね 1 週間後
- イ 最終合格発表 第 2 次試験日から概ね 1 週間後(発表日は、試験日にお知らせします。)

6 業務内容等

	甲板	機関	通信
主な業務内容	【甲板及び機関共通】 ・水産資源や海洋環境等の調査(漁獲調査、サンプリング、データ管理、調査機器等の保守点検・整備) ・当直(宿日直)や出入港作業などの運航業務		【通信】 ・無線通信、無線通信関係機械などの保守及び整備 ・運航管理及び操船、船体部・航海計器・甲板機器などの保守及び整備 ・水産資源や海洋環境等の調査(漁獲調査、サンプリング、データ管理、調査機器等の保守点検・整備) ・当直(宿日直)や出入港作業などの運航業務
	【甲板】 ・運航管理及び操船、船体部・航海計器・甲板機器などの保守及び整備	【機関】 ・機関の運転、燃料その他の機関用の油類の管理及び補給、機関関係機械などの保守及び整備	
労働時間	労働時間は、法令及び規則に基づき、航海中にあつては1日につき8時間、1週間につき56時間、停泊中にあつては1日につき7時間45分、1週間につき38時間45分となり、かつ、52週を平均して1週間の労働時間が平均38時間45分と規定しております。 なお、労働時間の割振りについては、次に記載されているものを基準とし、船長が別に定めます。		
	〈航海中〉(1回の航海期間は、およそ1週間から2週間程度) ○航海当直従事者(3直制勤務) A 労働時間 0:00～ 4:00 12:00～16:00 B 労働時間 4:00～ 8:00 16:00～20:00 C 労働時間 8:00～12:00 20:00～24:00 〈航海中以外〉 ○停泊宿日直従事者 D 労働時間 8:45～17:30 E 労働時間 17:30～ 8:45 ○停泊宿日直従事者以外の者 F 労働時間 8:45～12:00 13:00～17:30		〈航海中〉(1回の航海期間は、およそ1週間から2週間程度) ○通信従事者 4:00～21:00のうち8時間 船長の定めによる 〈航海中以外〉 左記の「甲板・機関」職員と同じ労働時間
休日	土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から1月3日まで。ただし休日は、定けい港停泊中に付与します。 ※法令や北海道職員の服務制度に準じた休暇制度を設けています。		

7 試験結果に係る固有個人情報の提供について

この試験の結果については、個人情報の保護に関する法律その他の規定により、下表のとおり試験等の結果を提供することができます。

なお、電話、はがき等による提供はできませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、マイナンバーカード等）を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に直接お越しください。（土・日曜日及び祝日は受付していません。）

提供できる人	提供期間	提供内容	提供場所
採用試験 受験者	合格発表日から 1か月間	個別得点及び その成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 本部経営管理部人事グループ

8 採用時期

採用時期は、原則として令和8年4月1日以降です。（欠員の状況により既に学校等を卒業している方は、令和7年度中に採用される場合があります。なお、受験者が採用日を指定することはできません。）

本試験に合格しても、採用時期までに上記3の受験資格欄に定める資格を取得していない場合や課程を修了していない場合は採用されません。

9 給 与

（次の額は、令和7年4月1日現在における**新卒者の場合の例**です。）

学 歴	給料等月額 （年額）	諸 手 当
大学卒	276,000 円 （約 460 万円）	期末手当・勤勉手当（賞与）、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当、時間外勤務手当、夜間勤務手当、宿日直手当等の諸手当がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。
短大卒	249,500 円 （約 420 万円）	
高校卒	218,800 円 （約 370 万円）	
高校卒 （5年目）	270,200 円 （約 455 万円）	
高校卒 （10年目）	304,400 円 （約 510 万円）	

※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定されます。

なお、当機構では、社会一般の情勢等に応じた給与の見直しを適宜行っています。

※ 年額には、期末勤勉手当や寒冷地手当等を含みます。なお、期末勤勉手当は採用時期や勤務成績に応じて支給率が変わります。また、寒冷地手当は勤務する地域や世帯状況により変動することから、年額はあくまでも目安です。

※ 社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

10 勤務条件等

休暇	年次有給休暇：1年に25日（採用年は月割計算）。15日を限度に翌年度繰越可能 夏季休暇：5日（6月から10月までの期間） 結婚休暇：7日 その他、病気休暇、忌引き休暇、ボランティア休暇等の休暇制度があります。
職員住宅	居住地は陸上です。（ただし航海期間中は船内） なお、世帯用の住宅のほか、各総合振興局所在地には独身寮があり、空き状況により入居することができます。
共済制度等	共済組合では、職員や家族が病気、ケガ、出産、死亡又は休業したときの医療費等の給付や、生活を支援するための貸し付けを行っているほか、退職後の年金を支給しています。 また、互助会では、医療見舞金の支給や、グループ保険の取扱いなどを行っています。

11 申込方法

次の書類を、北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループあて持参、郵送又はメールにより提出してください。なお、郵送の場合は、**必ず簡易書留**で送付してください。

- (1) **申込書**（指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に手書するか、又はパソコンで作成し、指定の場所に写真を貼付してください。）
 なお、申込みに当たっては、「希望する試験区分（「甲板」、「機関」又は「通信」）を1つだけ選択し「○」で囲んで下さい。
- (2) **上記3の受験資格に関する免許証等の写し（該当する場合、下表参照）**

試験区分	資格既取得者	資格未取得者のうち次のいずれかの者		
		筆記試験合格者	筆記試験一部科目合格者	高等学校、中等教育学校（後期課程に限る）、大学若しくは高等専門学校修了者若しくは見込者
甲板	海技免状 〔五級以上の 海技士（航海）〕	筆記試験 合格証明書	一部科目合格 がわかる書類	書類なし
機関	海技免状 五級以上の 海技士（機関） 〔内燃機関の限定を含む〕			

試験区分	資格既取得者	資格未取得者のうち次のいずれかの者		
		試験一部科目合格者	認定学校等の卒業者 若しくは見込者	今後資格取得予定の者
通信	無線従事者免許証 〔第三級以上の 海上無線通信士〕	一部科目合格がわかる書類	卒業（見込み）証明書	書類なし

【提出先】
 北海道立総合研究機構本部経営管理部人事グループ
 〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目
dosoken-saiyo@hro.or.jp

申込受付後、適性検査の受検方法等をお知らせするメールを送付します。

申込から2週間経ってもメールが届かない場合には、北海道立総合研究機構経営管理部人事グループ（電話 011-747-2813）にお問い合わせください。

12 その他

- (1) 申込書に記載された個人情報、本試験以外の目的には使用しません。
- (2) 採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- (3) 収集した個人情報は、個人情報保護法に基づき適切に管理します。
- (4) 申込後に、本試験を受験しない場合はその旨ご連絡ください。